

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	@・b・c
〈コメント〉法人・保育園の理念や基本方針は文書化している。総会の開催及び保育懇談会が年3～4回開催され、保護者に対して積極的に理念・方針の理解および周知への取り組みがある。	

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	@・b・c
〈コメント〉保育園近隣の状況の把握につとめており、地域の特性や状況の変化など民生委員との連携もある。四日市市の子供未来課とも毎月の会議をもち情報収集に努めている。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	@・b・c
〈コメント〉経営状況の分析や課題を検討しており、改善に向けた取り組みがある。パート会やチーフ会が開催され、課題の検討及び職員への周知に向けた仕組みも構築されている。	

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	@・b・c
〈コメント〉中・長期の事業計画は園・理事会で協議のうえで策定されている。適時、計画の確認や見直しを行っており、実現可能な計画となっている。	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	@・b・c
〈コメント〉法人としての中・長期計画をもとに理念・方針を達成するために、施設運営や整備、安全対策、保護者や地域との連携などが謳われている保育園の事業計画が策定されている。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	①・b・c
〈コメント〉事業計画は地域のニーズ・中・長期計画をもとに策定されており、理事会や常任連協といった会議で実施状況の把握もしている。職員に対しても職員会議やその他の会議などで報告・諸々の確認をし職員の理解を得るように取り組んでいる。	
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・②・c
〈コメント〉事業計画の周知のために方針総会や保護者会・拡大保護者会で説明する機会を作っている。保護者には概ね周知されているようだが、よく理解されていない保護者も存在するのも事実として認められる。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	①・b・c
〈コメント〉管理者は提供するサービスの質の向上に意欲があり、各種研修会への職員の参加にも前向きである。事業計画にも職員の育成・研修計画が謳われており組織としての取り組みとなっている。	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・②・c
〈コメント〉自己評価のなかで課題を抽出しており、職員間での共有も図られている。今後の取り組みに期待したい。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を促している。	①・b・c
〈コメント〉管理者は自らの役割・責任をよく理解しており、職員に対して明確にしている。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・②・c
〈コメント〉管理者は遵守すべき法令等に関して把握し研修や勉強会にも参加しているものの、職員に周知させるための取り組みは十分とはいえない。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	①・b・c
〈コメント〉管理者は保育の質の向上に意欲を持ち取り組んでいる。職員の育成にも前向きに取り組んでおり、個人面談も実施し力量の把握に努め指導している。	
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	①・b・c
〈コメント〉管理者は理念や方針を職員に理解してもらえるように努めており、その中で保育園の方向性を明示し環境整備や人員配置など改善に取り組んでいる。	

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉗・b・c
〈コメント〉園に必要な人材について、法人・管理者ともに理解しており人材の確保育成に取り組んでいる。事業計画にも反映されており法人として前向きな姿勢を見ることができる。	
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉗・b・c
〈コメント〉職員に対し自己評価や個人面談を行い、職員の現状を把握・認識し共有するよう努めている。職員の対遇改善も事業計画に盛り込み取り組んでいる。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・㉗・c
〈コメント〉職員の就業状況は主任が毎月チェックしており、定期的に行われている個別面談において意向を把握するよう努めている。今後も職員が安心して就労出来るよう継続した取り組みに期待したい。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・㉗・c
〈コメント〉事業計画にも職員の育成について記載があり、法人として取り組んでいる。職員の個別の目標や求められる具体的な水準について、明確になっていないのは今後の課題であろう。	
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉗・b・c
〈コメント〉職員の育成のための取り組みに関して、事業計画に反映されており育成に前向きな姿勢を見ることができる。内部・外部研修への参加機会は、職員の力量に合わせ参加させている。	
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・㉗・c
〈コメント〉職員の技量に合わせた研修機会を提供し育成に努めており、法人・園の取り組みは評価できる。職員個別の研修計画を作成するまでには至っていない。	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉗・b・c
〈コメント〉次世代の人材育成の必要性を認識しており、積極的に受け入れる用意がある。実習生の受け入れについてのマニュアルも整備されている。実習生の指導者に向けての研修を実施している。	

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	@・b・c
〈コメント〉事業計画書や決算報告書が公開されており、方針総会等で説明が行われ保育園の運営に関する情報開示が行われている。		
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	@・b・c
〈コメント〉公認会計士によるチェックもあり、外部監査も実施している。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	@・b・c
〈コメント〉地域との繋がりに対して重要性を認識しており、園の方針とし事業計画の中に織り込んでいる。民生委員や児童委員との連携もあり、小中高生の受け入れも行っている。		
II-4-(1)-②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	@・b・c
〈コメント〉ボランティア受け入れについてのマニュアルが整備されており、事業計画にも積極的な受け入れを表明しており体制は整っている。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	@・b・c
〈コメント〉保育園として地域や関係機関との関わりの重要性を理解しており、子育て支援団体や高齢者、民生委員などとの連携を図るよう取り組んでいる。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	保育所が有する機能を地域に還元している。	@・b・c
〈コメント〉四日市市の方針でもあり、一時保育や子育て支援・電話での相談にも応えており地域に貢献している。子育て支援センターとして、その役割を果たせるように事業計画に反映している。		
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	@・b・c
〈コメント〉関係機関との連携により地域の福祉ニーズの把握に努めている。地域の福祉ニーズにより法人として第三園の建設も検討している。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	①・b・c
<p>〈コメント〉『基本方針』や『保育をすすめる基本姿勢』の中に明示されている。保護者に配布している事業報告書や入園のしおりにも明示し、共通認識を持つことができるようにしている。在園児の保護者、全職員が参加する総会が毎年開かれ、基本方針も議題の一つになっている。</p>		
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・b・c
<p>〈コメント〉トイレはそれぞれの発達に合わせた作りになっており、プライバシーが守られている。プライバシーには排泄以外にもプールで遊ぶ時の着脱や身体測定時の配慮等も含まれていることを考えると、マニュアルの整備と職員への周知を願いたい。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	①・b・c
<p>〈コメント〉ホームページによる情報提供の他、見学者には園長、主任が対応してパンフレットを用いながら説明を行っている。また、園には市内にある保育園、全園のパンフレットが四日市市が定めた『保育施設ガイド』として置かれており、当園以外の保育園の情報を得ることができるようになっている。</p>		
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p>〈コメント〉入園時に入園のしおりを用いて説明を行っている。また、日本語の理解が難しい保護者についてはローマ字で対応している。保育園の入所に関しては市によって決定されるため、希望する園ではない可能性もある。どのように同意を得るのが工夫を願いたい。</p>		
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p>〈コメント〉市内への転園の場合は、申し送り書として児童票を送付している。退園の場合は、一時保育や支援センターが利用できることを、入園のしおりや口頭で知らせている。卒園児も園に遊びに来るとのこと。その時の相談内容を記録に残し、卒園児の保護者や小学校にどのように情報提供をしていくのか検討を望むと共に、個人情報の提供についてどのように同意を得るのが工夫を望みたい。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	①・b・c
<p>〈コメント〉行事ごとのアンケートを取ることはしていないが、保護者が自分の都合に合わせて保育に参加する機会があったり、懇談会や家庭訪問があり、その中から保護者の意向や要望を把握するようにしている。また、乳児は毎日、家庭の様子や園での様子を記入する連絡帳がある。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p>〈コメント〉苦情解決の仕組みを入園のしおりの中で図を用いながらわかりやすく説明をしている。また、苦情があった場合は、苦情相談受付簿を使用し、記録として残している。今年度の苦情はないが、以前あった苦情に関しては、園長、主任がインターネットで調べたり、園での対応の仕方を確認したりして保護者に丁寧に伝えていた。苦情があった場合、当事者以外の保護者にどのように公表をしていくのが今後の課題であろう。</p>		

Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	①・b・c
〈コメント〉送迎時だけではなく、保護者が休みの日を利用して保育に参加できる機会を設けたり、年数回のクラス保護者会の時間を設けた保育懇談会を開催したりして保護者の相談や意見を把握するようにしている。また、乳児の場合はおたより帳に相談や意見を書くことができる。	
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	①・b・c
〈コメント〉保護者から直接相談を受けた場合は口頭で応えたり、おたより帳による相談があった場合は、記入欄以外にも裏面を使って応えるようにしている。保護者からの相談や意見については職員間で共有するため、職員会議の中で他の職員にも知らせ、会議録として残している。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
〈コメント〉危機管理マニュアルの中に、事故や事件などに関するマニュアルがある。市の様式を用いて事故報告書やヒヤリハットの記載をするようになっており、職員会議で報告をし、職員で共有している。不審者についてのフローチャートがあるが、様々な場面での訓練を願いたい。	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
〈コメント〉保健マニュアルがあり、園内で感染症が発生した場合は、玄関に掲示をしている。また登園する場合は、市の様式の許可証を用いている。保護者に発生状況や登園停止の病名を知らせるだけではなく、感染症についての情報提供を願いたい。	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
〈コメント〉危機管理マニュアルがある。自衛消防隊組織図や避難訓練の年間計画に沿って訓練が行われ、訓練後は、職員と話し合いを行っている。園長が報告書に避難訓練の結果を記入しているが、訓練後に行われる話し合いの中で出た課題等を記録に残し、次の訓練につなげていただきたい。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
〈コメント〉保育課程や保育に関するマニュアルから、それぞれの年齢の指導計画を作成している。異年齢保育を行っている幼児の月案では、1か月を週に分け異年齢で行う活動のほか、それぞれの年齢に合わせた活動の計画を立てている。乳児担当の保育士が幼児クラスに入る内部研修を行っているが、幼児担当の保育士が乳児クラスに入る研修も願いたい。	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	①・b・c
〈コメント〉保育日誌に毎日の様子を記入したり、日案の裏面に子どもの様子として個人別発達や経過記録を記入したりして、日々の様子を把握しながら、評価、反省をし、次の月案、週案、日案に反映するようにしている。また、担任だけではなく、会議によって他の職員の意見を聞く機会がある。	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・b・c
<p>〈コメント〉児童票は市の様式を用いている。入園時に提出される書類によって家庭状況や生活状況、身体状況などを把握している。月2回行われる会議には、調理員も1名参加し、アレルギー児や離乳食の進め方について担任と意見交換をする機会がある。障がいのある子どもがいる場合、地域の専門機関との連携をどのように取っていくのか今後を期待する。</p>	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p>〈コメント〉評価はそれぞれの担任が行っている。年計画は4期に分かれており、期の終わりには8時間労働のパート職員、台所（給食室）の職員を含めた会議を行っている。月案はそれぞれの年齢の担任同士が話し合いを行い、変更があった場合は赤ペンで記入し、課題や疑問は青ペンで記入している。月2回行われている会議の前に全職員に全クラスの月案がカラーコピーで配布され、意見を出しやすい環境にある。</p>	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<p>〈コメント〉月2回行われている会議の前に全クラスの月案がカラーコピーで配布され、意見を出しやすい環境にある。また、今年度から法人内のひよこ保育園と年4回の合同職員会議を計画し、その中で勉強会を設けている。勉強会の内容を記録し、勉強会を行った結果がどうであったのかが次年度への課題だろう。</p>	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p>〈コメント〉個人情報や特定個人情報管理義務に関するマニュアルがある。指導計画はすべて手書きで行い、守秘義務のある計画に関しては配付を行わず、職員室で管理している。保管期間や廃棄方法などのマニュアルの整備を願いたい。</p>	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

	第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。	
Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	a・b・c
<p>〈コメント〉園で野菜を栽培する畑があり、地域の方の指導を受けながら子どもたちと一緒に野菜を育てている。シルバー人材センターの人たちが週3回園に来て杭を打ったり、玩具を直したりしている。また、年1回民生委員の方との触れ合いがあるがまだ十分でない。地域の子育て経験者とのように関わっていくのかこれから期待したい。</p>	
Ⅳ-1-② 子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	a・b・c
<p>〈コメント〉電話やファックス、メールによる市の連絡網がある。小学校とも虐待防止についての会議を行っている。園内だけでは対応できない災害が起きた場合のことを考え、市役所だけではなく地域の方にどのように協力をしてもらうのか、園が避難場所になった場合はどのように対応をしていくのか検討を望みたい。</p>	
Ⅳ-1-④ 地域の環境保護に貢献している。	a・b・c
<p>〈コメント〉親子運動会後に園周辺の草取りを保護者の方と一緒にしたり、園内の掃除を年1回子どもたちと一緒にしている。水も資源の一つである。砂で汚れた手足の洗い方や砂の入った水の使い方に工夫を願いたい。</p>	